

令和8年度の中関幼稚園の教育について

中関幼稚園長

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。このため、本園では幼稚園教育要領に基づき、また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10項目^(*)や小学校との円滑な連続性という観点から教育課程を編成しています。社会が激しく変化する中、教育内容や方法について、不断の見直しを進めています。

- (*)
- ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり
 - ⑥思考力の芽生え ⑦自然とのかかわり・生命尊重 ⑧数量・図形、文字等への関心・感覚
 - ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

1 スマート・プロジェクト・メソッド

本園では、北欧で実践されています幼児教育理論「スマート・プロジェクト・メソッド」を取り入れた「中関幼稚園教育プログラム」を実践しています。各月ごとにプロジェクトのテーマを設定し、年齢別に年間・月・週ごとの活動内容を示しています。

2 教育環境

本館玄関に設置するディスプレイに、各月のプロジェクト・テーマに即した掲示をします。子どもたちの知的好奇心を揺さぶり、思わず近寄ってみたいくなるような工夫をしています。

保育室には、「ままごと」、「絵本」、「製作」などのコーナーを設置し、子どもたちが自主的に遊ぶ空間を用意しています。

園庭には、四季折々に変化する花、樹木、小川を整備しています。ここには、昆虫や鳥など様々な生き物が集い、子どもたちは年間を通じて身近に自然に触れることができます。



<玄関ディスプレイ>



<農業大学校見学>



<緑豊かな園庭>



<小川のメダカ観察>



<ソラール見学>

3 育ちの連続性

お子様の素晴らしい資質や可能性を伸ばしていくためには、ご家庭と幼稚園との信頼関係が大切です。このため、子育てについての相談体制の整備、幼稚園教育に関する意見交換の場の設定など、開かれた幼稚園運営を進めています。ご家庭との連携を強化するためのアプリを導入するなど、ICTの活用も一層推進しています。

また、幼稚園での育ちが小学校に円滑に引き継がれるよう、幼稚園作成のアプローチ・カリキュラムと小学校作成のスタート・カリキュラムの統一性や一貫性を図るために、小学校と定期的に連絡協議会や相互の授業参観を実施しています。



<芝生の築山>